

2021年1月10日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第40号(通算3217号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま つく 神様が創られたすべてのいのちを
たいせつ きょうかい 大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027
kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい 降誕節 第3主日礼拝

《**新型** **コロナウイルス**の**感染防止**に**留意**しながら**礼拝**を行います。インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に**礼拝**をして頂きます》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば き じょう しょう せつ
招きの詞 サムエル記 上 16章 7節

さんびか ばん つみ かみ こ せつ
賛美歌 21-277番「罪なき神の子」(1-3節) (©JASRAC)

せいしよ せいしよ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 マタイによる福音書 3章 13-17節

いの
お 祈 り

さんびか ばん つみ かみ こ せつ
賛美歌 21-277番「罪なき神の子」(4-6節) (©JASRAC)

メッセージ 「人は見かけか、内面か」 牛田 匡 牧師

さんびか ばん へいわ どうぐ
賛美歌 21-499番「平和の道具と」 (©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ だし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こうそ う ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこ けい ばん
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで**礼拝**にご参加ください》

* 「**献げ物 (献金)**」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に**献金箱**がございます。ご用意のある方のみ、お**献げ**ください。

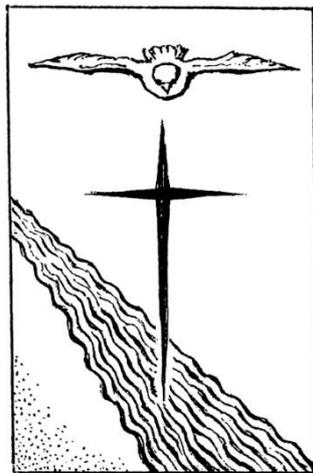
招きの詞 ^{ことば} サムエル記 上 16章 7節

⁷しかし、主はサムエルに言った。「容姿や背丈に捕らわれてはならない。私は彼を退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る。」

聖書 マタイによる福音書 3章 13-17節

¹³その時、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼バプテスマを受けるためである。¹⁴ところが、ヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った。「私こそ、あなたから洗礼バプテスマを受けるべきなのに、あなたが、私のところに来られたのですか。」¹⁵しかし、イエスはお答えになった。「今はそうさせてもらいたい。^aすべてを正しく行うのは、我々にふさわしいことです。」そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。¹⁶イエスは洗礼バプテスマを受けると、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の霊が鳩はとのようにご自分の上に降くだって来るのを御覧ごらんになった。¹⁷そして、「これは私の愛する子、^b私の心に適う者」と言う声が、天から聞こえた。

(脚注 a：直訳「すべての義を満たす」、b：直訳「私はこれを喜ぶ」)



《先週のメッセージより》1月3日 新年礼拝（降誕節第2主日礼拝）
メッセージ「帰るべき故郷」より 牛田匡牧師

聖書：マタイによる福音書 2章 13-23節

コロナ禍での年末年始を、皆様はどのようにお過ごしになられているでしょうか。この年末年始は多くの方が故郷への帰省を控え、帰省ラッシュもなかったようです。これまでは当たり前だと思っていた故郷で気の置けない身内と一緒に過ごすというのは、今の言葉で言うならば「マスクを外して息ができる」「素顔のままで会話や食事ができる」ということだったのでしょう。マスクを外して素顔でいられるような故郷を、今、私たちは持っていますでしょうか。

今回の聖書のお話は、クリスマスに生まれたイエス様の所に、東方から博士（星占い師）たちが贈り物を持ってやって来たというお話の続きでした。当時ユダヤを支配していたヘロデ王は、彼らにベツレヘムに生まれた救い主を見つけたら報告するようにと伝えていましたが、彼らはイエス様に贈り物を献げた後、ヘロデの所には戻らずに東方へと帰って行きました。それを知ったヘロデ王は怒り、ベツレヘムとその周辺一帯にいる二歳以下の男の子を一人残らず殺しましたが、イエス様はみ使いのお告げを受けた両親によってエジプトに逃れ、難を免れました。ただし、歴史学的にはこのような幼児虐殺はこの福音書以外に記録がなく、古代イスラエルの民をエジプトから解放したリーダーのモーセになぞらえて救い主イエス様を描こうとしたマタイの創作だろうと考えられています。

しかし、このエジプトへの逃避行が、たとえ創作であったとしても、生まれたばかりの乳飲み子を抱えた若い夫婦が、異国でどのような難民生活を送っていたかを想像することは、決して無駄ではありません。着の身着のまま遠くエジプトまで逃れて来た。いつ故郷のナザレへ帰ることができるのかも分からない。けれどもいつか故郷に戻れる日が来ることを信じて、諦めないで、今を生きる。彼らを支えたのは、「インマヌエル（神は私たちと共におられる）」という神様の約束への信頼と、自分たちには「帰るべき故郷がある」という信念だったのかもしれない。

2021年を迎えた今も、世界は病禍や戦禍に嘆き、各地で格差と貧困、差別が深刻化して来ています。私たちが「帰るべき故郷」「帰ることのできる故郷」、マスクを外して大きく深呼吸できる場所、飾らずにありのままの自分でいられる場所は、一体どこにあるのでしょうか。神様から命を与えられ、今日を生かされている私たちには一人一人、そのような帰るべき故郷がある。そこで私たちの名前を呼んで下さっている方がいる。そのことを心に留めて、この年もまた神様と共にあって私たちは歩みを進めて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (1月3日)

礼拝出席 大人7名 子ども3名 献金 大人9,000円 子ども300円 感謝

◎次週 2021年1月17日(日) 降誕節 第4主日礼拝

招きの詞 エゼキエル書 2章 1-2節

聖書 マタイによる福音書 4章 18-25節

メッセージ「私について来なさい。神様によって立ち上がらされて」 牛田匡牧師
賛美歌 21-521番、505番、512番 (いずれも◎著作権消滅)

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・本日礼拝後に予定していました1月期の「教会を考える会」は、コロナの感染状況から、皆が一堂に会するのではなく、書面にて稟議とすることになりました。主な議案は、教勢報告、会計報告、今後の礼拝・行事予定、クリスマス献金などです。
- ・1月14日(木)9時半~11時半、釜ヶ崎・いこいの家にて本田哲郎神父と「聖書を読む会」があります。テキストは本田哲郎訳「ヨハネの手紙1・2・3」でコピーが配布されます。参加費は無料で、希望者がカンパをしています。
- ・1月16日(土)13時から、エルおおさかにて「中村哲さんの意志を引き継ぎ世界の平和をめざそう！」(とめよう!戦争への道めざそう!アジアの平和2021関西のつどい実行委員会主催)が行われます。コロナ対策のために会場の座席数に制限があります。資料代500円(介助者・中高生無料)。http://www17.plala.or.jp/kyodo/
- ・1月18日(月)は大阪教区の災害訓練日です。災害伝言ダイヤル「171」→教区事務所「06-6761-8562」→再生「2」で、教区が録音したメッセージを聞くことができます。災害時への訓練として、ぜひ聞いてみてください。
- ・1月24日(日)13時~15時、インターネットにて「福島原発刑事訴訟支援団オンライン集会『原発事故から10年 ここまで明らかになった真実』」が開催されます。科学ジャーナリストの添田孝史さんの講演や、海渡雄一弁護士による東電株主代表訴訟の報告、原発事故被害者のスピーチ、武藤類子告訴団長から福島の現状報告など。ZOOMを使用したオンライン集会で、事前申込不要、参加費無料。先着500名まで視聴可能。詳細は、支援団のホームページ <https://shien-dan.org/>

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
1/17	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	聖書を読む会
1/24		牛田牧師	誕生者祝福式(12月・1月)・おにぎり支援
1/31		武久盾牧師?	住道一粒教会との講壇交換?
2/7		牛田牧師	聖餐式・教会を考える会